

沖縄県 宮古島市

宮古島地域雇用創造協議会



トライアスロン

「宮古島スイーツコンテスト」を開催し、地域の食材を活かした特産品を開発し、地域事業者への波及による雇用創出を実現。また、民泊事業の拡大や地域の特性を活かしたMICEメニューの開発による観光関連産業等の雇用創出を実現

宮古島市は宮古群島に位置し、沖縄本島の南西方約290kmの距離にあり、観光や農業を基幹産業とした地域である。当該地域では、観光客が増加傾向にあるものの、観光客評価の低迷、来島目的の固定化、民泊事業者不足が課題となっており、また、観光客の消費額も低迷している。こうした課題に対応するため、企画開発力や対応力を持った人材の育成、体験観光プランの開発、来島目的の多角化、民泊事業者の開拓、地域資源を活用した商品の開発等により雇用機会の拡大を目指す。



広めよう地域の“宝”!! 総力をあげて挑む宮古島地域力の向上・産業の活性化・雇用の創造!!!!
～宮古島地域雇用創造プロジェクト～

1. 地域の特徴及び事業の概要

■ 地域の特徴

人口	H22 52,039 人	H27 51,186 人			
労働力人口	H22 26,175 人	H27 24,612 人			
有効求人倍率 (季節を除く一般(パートを含む))	H24 0.56	H25 0.73	H26 0.87	H27 1.00	H28 1.35
産業構成(就業者数) (平成27年度国勢調査)	第1次産業 4,249 人	第2次産業 3,097 人	第3次産業 14,644 人		
産業振興において重点的に取り組んでいる分野	■観光CS分野 ■食品と流通加工分野				

■ 事業の概要

協議会名	宮古島地域雇用創造協議会
協議会の主な構成団体	宮古島市、宮古島商工会議所、一般社団法人宮古島観光協会
委託費総額	(実践型事業) 233,411(千円)
主な事業	【雇用拡大メニュー】■実践型商品開発改良上級セミナー ■実践メニュー公開セミナー ■民泊事業者の新規開拓セミナー ■地域食材活用セミナー 【人材育成メニュー】■初級中級ビジネススキル習得研修 ■国際接遇基礎研修 ■食品加工流通基礎研修 【就職促進メニュー】■研修・講座等に関する情報提供・UJターン支援 【雇用創出実践メニュー】■体験観光促進プロジェクト ■食品加工流通プロジェクト

2. 地域の課題と事業実施のねらい

■ 地域の課題

観光プロモーションの効果やチャーター便の増便により、入域観光客数は日本人観光客だけでなく外国客も着実に増加している。一方で、外国客への対応ノウハウ不足や、「従業員の質」「食事の質」「物販の内容」などに対する評価は他地域と比較し低い水準にある。また、本市の観光関連産業は、需要が夏季に集中する為、繁忙閑散の差が激しい。更に、本地域特有の課題である「割高な流通コスト」などにより価格競争力が低い商品が多くあり、素材自体は十分地域の特産品となりえる要素を持つ商品が、地域内に留まる傾向にある。

■ 事業実施のねらい

企画開発力、外国人対応力、土産品消費額の低迷、販売力低迷といった課題に対応する人材や、トレーサビリティによる商品の安全性信頼性の確立、地域特有の素材を活かした一般加工食品の開発改良等による高価格帯での競争力強化、地域の事業者間の連携による流通コスト削減などの課題解消を行う人材の育成、他地域での就業経験を持つ人材登用のためUJターンを支援することにより、地域力を高め、地域の「宝」(宮古島観光の魅力や地域の商品など)を発信し、地域産業の活性化による雇用の安定化を図る。

3. 事業内容と成果

【事業全体】

- 雇用面の課題としてあげられた、企画開発力、外国人対応力を持つ「観光CS分野」従事者及び、企画開発力・課題解消力を持つ「食品と流通加工分野」従事者に係る人材の育成と実施体制の構築は、同時に実施することが最も効果的であるため、人材育成部分については、雇用拡大及び人材育成の両メニューを中心として行い、実践する中で仕組みを構築する必要がある部分等については、実践メニューで対応することとした。
- 双方が相互に連携することで波及性を生み出し、関連産業の活性化、波及的雇用創造効果を狙うものである。また、食と流通加工関連産業では販路拡大に向けて他地域企業との取引実績がある人材を求めていることから、該当する人材のU-Jターンに力を入れることで、取引量の増加や生産量の増加が見込まれ、雇用の拡大が期待出来る。このような取組の結果、Uターンの移住者が飲食店を創業する等の効果が生まれている。



初級中級ビジネススキル習得研修



国際接遇基礎研修

【雇用拡大メニュー】

- 地域内企業の事業主・従事者、創業希望者を対象に、企画開発力・課題解消力を持つ従事者の人材を育成するセミナー実施により雇用機会の拡大を目指す。【実践型商品開発改良上級セミナー】地域産業の現状と展望、商品開発改良基礎・応用、マーケティング、販売促進／【実践メニュー公開セミナー】実践メニューで開発した成果物を地域の事業者や創業希望者に対して公開／【民泊事業者の新規開拓セミナー】民泊事業の事業収支、受け入れ体制、リスクマネジメント／【課題解消力習得セミナー】課題発見、課題解決法、ITを活用した事業の多角化・収益の健全化／【地域食材活用セミナー】観光客の動向・課題点、地域食材活用メニュー・開拓ノウハウ。「民泊事業者の新規開拓セミナー」受講者が民泊事業を創業し、一般観光客の受け入れを開始している。また、その他のセミナーに参加した企業においても、セミナーで開発した商品化・生産量の増加のための雇用拡大に繋がっている。



食品加工流通基礎研修

【人材育成メニュー】

- 地域内求職者・転職希望者を対象に、各職業分野において必要とされるITやビジネススマナーや、多言語対応での接遇ノウハウ、食品加工流通関連産業に必要とされる人材を育成するセミナーを実施し、地域求職者の早期就労に繋げる。【初級中級ビジネススキル習得研修】ビジネススマナー、パソコン基礎、アプリケーション(Excel・Word・PowerPoint基礎・応用)／【国際接遇基礎研修】観光の概況・ビジネススマナー、語学基礎(中国語・韓国語)、接遇用語基礎、外國客の気質や行動パターン、販促物／【食品加工流通基礎研修】食品加工基礎・実践、流通基礎、原料調達とフードディフェンス、流通販売戦略。セミナーにおいて実践的な知識・技術を習得した地域求職者か、ホテル業をはじめ地域の観光関連産業、農産物流通業等、地域経済活性化に繋がる企業に採用され大いに活躍している。



実践型商品開発改良上級セミナー

【就職促進メニュー】

- 本事業にて実施するセミナーについて、ホームページや関係機関、各団体発行の機関紙等でのPRを行い、開催内容や開催スケジュール等の情報を提供することで、参加受講を呼び掛けれる。また、本市にUターン、Iターン、Jターンでの就職を希望する者に対して、就職情報の提供や相談の業務を行う。本市にて創業・就職を希望する者に対する相談業務を経て、飲食店を開業した者や地域内企業に就職した者が大いに活躍している。

【雇用創出実践メニュー】

●【体験観光促進プロジェクト】入域観光客数の増加に伴い、観光客の満足度向上を目指した、自然を取り入れた体験観光メニューの開発等を実施し、天候不順時でも実施可能な「ジェルキャンドル作り」の体験観光プランを開発、成果物公開セミナーを実施した。提供した企業においては、観光客へ向け事業を展開している。／【食品加工流通プロジェクト】宮古島を代表する特産物を使用した未発表のスイーツや加工品を募集し、「宮古島スイーソンテスト」を実施、優秀な成績を収めた作品については、商品化に向けて必要な改良やパッケージ作成等のフォローアップを実施した。フォローアップを行った作品については、そのレシピ等について地域の事業者等に広く公開した。提供した企業においては、商品製造販売のため新たな雇用が生まれた。また、首都圏の商業施設において商品の販売を実施したところ、短期間で予定数が売り切れるなど大きな成果に繋がった。

ポイント

基本メニュー(雇用拡大メニュー、人材育成メニュー、就職促進メニュー)においては、管内のハローワークに協力を依頼し、求職者へのPR・チラシ配布を実施した。また、広報誌「広報みやこじま」への掲載及びラジオ・新聞等への掲載と合わせ、新聞折込チラシやポスティングによる周知活動を展開した。さらに、ホームページ上から講座申込みが出来るシステムを構築したことにより、地域内求職者等に向け広く周知を行った。



■アウトプット指標

	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
雇用拡大	55 社	111 社	201.8%	55 社	111 社	201.8%	55 社	—	—
人材育成	110 人	107 人	97.3%	154 人	101 人	65.6%	154 人	—	—
就職促進	50 人	10 人	20.0%	50 人	33 人	66.0%	50 人	—	—

■アウトカム指標

	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
就職創業者数	56 人	55 人	98.2%	70 人	71 人	101.4%	70 人	—	—

成果物の紹介

■体験プラン「ジェルキャンドル作り」

天候不順時でも実施可能な体験観光プランとして「ジェルキャンドル作り」を開発した。本市が平成24年に行なった観光客への調査では「満足度低迷理由」として、台風等「天候不順で何も出来なかった」という趣旨の理由が数多く挙げられていた。そこで、天候不順時でも実施可能で「宮古島」を感じていただけるよう、ジェルキャンドル作りの体験プランを開発するに至った。当初、既成のガラス細工やビー玉・貝殻等を材料として試作していたが、より「宮古島感」を提供するため、独自にガラス細工の制作にも取り組んだ。宮古島市のイメージキャラクターである「みーや」や、宮古島警察署管内にあたる宮古列島の道路などに設置されている警察官型人形の愛称である「宮古島まもる君」、また、宮古焼のミニシーサーを作製し、オリジナルパートとしてジェルキャンドル作りのメニューに加えた。試作段階では、気温によってキャンドルの固形化に要する時間が安定しない等の課題があったものの、試験販売では「簡単に作れる」「宮古島らしさを表現できる」「素材を自由に選べることでオリジナリティ溢れるキャンドルが作れて楽しい」など好評であった。公開セミナーに参加した企業では、「材料費等の初期投資の負担が少ない」と事業拡大し観光客向けに事業を展開している。



ジェルキャンドル



完熟マンゴーとクリームチーズのタルト



平成27年度最優秀金賞「パッションドーム」

4. 事業推進において生じた課題と解決に向けての取組

基本メニュー

【課題】

●各セミナーにおいて、受講者を募る事が課題となり、新たな募集方法を模索することに時間を要した。UIJターン相談会については、時期・金額・来場者数等の要件が合わず、会場選定が課題となつた。

【解決に向けての取組】

●管内のハローワークへ協力を依頼し、求職者へのPR・チラシ配布を行った他、広報誌・新聞広告、ポスティング、ラジオ、新聞折込チラシに複数のセミナーを紹介し、積極的に情報提供を行った。UIJ相談会は、「宮古島物産展」の会場内に特設会場を設置することで、要件を満たすことが可能となつた。

実践メニュー

【課題】

●体験観光プランの開発において、試作実施に係る材料の入手方法や、観光客のニーズ調査に時間を要した。また、「宮古島スイーソンテスト」の実施については、事業終了後を見据え、地域内の企業に引き継いだ際の課題の洗い出しに苦慮した。

【解決に向けての取組】

●体験観光プランの開発については、オリジナルパート製作が成功し、モニター調査・試験販売においても好評を得た。また、「宮古島スイーソンテスト」については、一般審査員から入場料を徴収したり、イベントの協賛金を募る等、事業終了後の実施においても地域のイベントとして地域内企業が連携し継続することが出来るきっかけ作りとなつた。

5. 地域の声

■協議会担当者

研修事業において、アウトカム指標がほぼ目標値を達成する等、事業を通して雇用拡大、経済活性化等の成果を得られたことは、事業を効果的に実施できた結果であると実感しています。実践メニューの「宮古島スイーソンテスト」は、自発的な商品開発を促し、多くの市民を巻き込み事業タイトルどおりの総力をあげて「満足度の高い商品」開発に挑んだ取り組みです。



■行政担当者

本事業をきっかけとした人材育成による商品開発力の向上、信頼性の向上、販売力の向上等により、各分野での企業力強化と雇用の拡大に繋がりました。特にスイーソンテストは、自発的な商品開発を促し、多くの市民を巻き込み事業タイトルどおりの総力をあげて「満足度の高い商品」開発に挑んだ取り組みです。



■連携企業

宮古島スイーソンテストのアドバイザー業務にあたり、受賞作品の商品化までの工程を短くすることを心掛けてアドバイスを実施しました。成果物を受け取った事業者が色々なプロセスを経て商品化し、地域の企業間連携のきっかけとなりました。雇用が拡大していく中、事業終了後もそのままの支援を行っていきたいです。



6. 事業終了後の取組と今後の方向性

■本事業にて育成した人材の支援

宮古島市総合計画に沿い関係機関が連携し雇用の創出を実施する沖縄振興一括交付金等を活用し、本事業にて育成した人材に対し、関連事業の創業、業務拡張の支援を検討していく。

■「宮古島スイーソンテスト」の継続実施・改良

本事業にて実施した「宮古島スイーソンテスト」のノウハウを活用し、地域企業間の連携のもと、継続的に地域のイベントとして実施出来るよう支援を行う。さらに、本コンテストにおいて優秀な成績を収めた受賞作品が本市の新たな名物、ご当地メニューとなるよう、また、商品化後の販路拡大を支援し、地域の生産、製造加工、流通、販売に関わる事業者の雇用拡大を目指す。



宮古島のフルーツ
(ドラゴンフルーツ、パイナップル、バッショングルーツ)

■地域の雇用創造の為の企画立案及び関係機関との調整

本事業終了後においても「宮古島地域雇用創造協議会」を存続させ、地域の雇用創造の為の企画立案及び関係機関との調整の役割を担う。雇用創造のための取り組みは協議会が主体となり、宮古島市役所、その他構成員との連携及び役割分担を図りながら、「宮古島市スポーツ観光拠点JTAドーム宮古島」をはじめとした地域内の施設をMICE等の事業に有効活用するなどして、継続して地域の活性化を追求していく。

